



ともに

平成 30 年 9 月 3 日

第 18 号

文責：緒方悠実子

※個人情報保護のため目的外使用を禁止します

～2学期をどう過ごすのか考えよう～

いよいよ2学期が始まります。1年生の2学期は、学校に慣れてきて気がゆるむ時期とも言われます。また、まだまだ続く夏の暑さの中で、久々の学校生活にぐったりとすることもあろうでしょう。そんな2学期をどう過ごしますか。1学期に福山少年自然の家に行き、SAF プログラムで学んだことの1つとしてみんなが感想に書いていたのは、「目標を持つことの大切さ」でした。1人で行う学習（試験勉強や宿題）でも、クラスのみんなで団結して行うことでも、目標を立てることが必要です。一つひとつの行事（たとえば文化祭や定期試験など）において、目標を決めて取り組むことは絶対ですが、2学期を通して頑張ることを1つ決めてほしいと思います。前回の通信に、「物の管理をする」ということを書きましたが、これも一つの目標になります。「提出物の再提出をなくす」や、「自分の係を忘れずに行う」、「無言掃除をする」など、考えてみればたくさんあります。自分で目標を決め、それを胸に頑張りましょう！！また、1学期は学校でのルールを「知り」、「慣れる」ことが主だったと思いますが、2学期はそれを「続ける」ことをしていきましょう。



～PTA 美化活動へのご協力ありがとうございました～

8月25日（土）にPTAの美化活動がありました。保護者の方々にも参加していただき、とてもきれいになりました。日ごろできないところの草取りができました。また、部活ごとに取り組み、引退した3年生とも久しぶりに一緒に活動することができました。



～松本先生 ありがとうございました！！～

松本先生には登校日に総合的な学習の時間の中で一緒に話をしたり、宿題を教えてもらったり、部活動と一緒に汗を流したり、いろんな話をしたりと、たくさんお世話になりました。1ヵ月しか一緒に過ごすことはできませんでしたが、松本先生と過ごした中でたくさん思い出に残っていることがあると思います。松本先生に教えてもらったことを忘れず、これから頑張っていき、いつか松本先生に再び会ったときに、胸を張れるようになっていきたいですね！！



みんなと出逢ってあっという間に過ぎた1ヵ月。こんなにも早いみんなとのお別れを先生も予想していなくて、とっても寂しいです。先生になって初めて関わった生徒がみんな、何もかもが新鮮で、先生にとっては一生忘れることがない時間でした。みんなもそう思ってくれてたら嬉しいな～。これからの人生、いろいろな人に出逢うと思います。どんなときも出逢った人を心から大切にできる人でいてほしいと思います。「できるできないじゃなくて、自分がやるかやらないか」先生が大切にしている言葉です。みんなの可能性は無限大！一歩一歩、自分の個性を存分に出していろいろなことにチャレンジして、人として魅力ある人になってください。これからもみんなのことをソーサーが見守ってるからね！また、いつか会える日を楽しみにしています。みんなありがとう！！